

北海道通信

昭和50年6月12日第3種郵便物認可
日刊 祝祭日、日曜日、土曜日 休刊

日刊教育版

令和元年 12月18日(水曜日) 第11603号
発行所 札幌市中央区北5条西6丁目
株式会社 北海道通信社
☎(代) 222-3521 FAX 222-3532
発行人 松木 謙 公
支社 東京6795・7770 旭川243267 函館527781
釧路235241 帯広297872 岩見沢234957
室蘭221735 網走433719 小樽230515
支局 稚内337111 留萌422716 浦河22200
(購読料1ヵ月12,960円)

令和元年12月18日 【水曜日】

地域での役割考える

恵庭中 1日防災学校

全校生徒や住民450人

恵庭市立恵庭中学校(鹿野秀一校長)は7日、同校で1日防災学校を開いた。全校生徒約420人のほか、地域住民ら30人が参加。震災時の経験を紹介した講演や、避難所運営体験、スマートフォンを活用した防災教室などを通し、

地域とともに災害時における自分たちの行動や役割などを考えた。同校は本年度からコミュニケーション・スキルを導入。様々な事業を展開する中で、1日防災学校を地域と一体となった取組の一つに位置付けている。地域住民

のほか、自衛隊や行政、地元企業の協力を得ながら活動に取り組んだ。文部科学省初等中等教育局教育課程課の長田徹教科調査官が「東日本大震災の経験から」と題して講演。震災の際の実体験や、当時の様々な学校の様子を伝え



たほか、小・中学生がとった行動や考えていたことなどを紹介。災害時には、自

て、励ましをもらうことが

スマホ防災教室では情報の収集方法を学んだ

分の命を守ることを前提とした上で、つきに周りの人に対して何かしてあげられることを考えるよう呼びかけた。

また、同校生徒が台風で被災した千葉県県南房総市に激励のメッセージを送ったことを取り上げ、被災者にとって、励ましをもらうことが

2年生は、段ボールベッドや簡易スリッパの作成などを通して避難所生活を体験した。3年生は、スマートフォンを活用した防災教室を実施。市の避難所運営マニュアルやハザードマップを検索するなど、端末にふれながら情報の収集方法を身に付けた。正しい情報を見極めることや、必要な情報の掲載場所を知っておくことの重要性を学んだ。